

日・シンガポール共同研究 「セルセラピー」 事後評価
課題評価委員会における主な指摘事項

研究開発課題名： 糖尿病治療へ向けたヒト幹細胞由来膵β細胞の品質管理と応用的研究
研究開発代表者名： 白川 純（群馬大学）

本課題は、日本とシンガポールにおいても増加傾向にある糖尿病の根本治療法の開発を目指し、将来の iPS 細胞由来膵β細胞療法に有用となる可能性のある膵β細胞の増殖生存に関与する細胞分子機構の解明や制御薬剤候補を同定するなど、基盤的研究において着実な成果を上げた。また、日本側研究者を中心に、豊富な論文報告、学会発表の成果が得られており、当該分野の進展に貢献したと言える。総じて、膵β細胞の機能解析において多様な観点から研究に取り組み、成果をあげており、将来的な発展が期待される。

一方で、共著論文はあるものの、当初計画にあったシンガポール側のヒト iPS 細胞からの膵β細胞作製や *in vivo* での動物への移植実験に関する記載が報告書には見当たらず、両国の共同研究が効果的に実施されたかどうか不明である。

将来的な臨床応用を目指すにあたり必須である *in vivo* の前臨床試験に向けた加速化について、今後の継続的な研究開発を期待したい。